

らんどときわ

令和6年1月1日

第61号

発行 ランド常磐の会
責任者 会長 石岡 靖夫
事務局 水戸市常磐市民センター
TEL 029-233-7005
印刷 (株)高野高速印刷
ロゴタイプ:加藤木洋一

9/27

高齢者クラブ連合会

ふれあい事業

昔あそび



かるた

8/19

ときわ地区

夏まつり



子ども太鼓

4年ぶりの開催!!



竹とんぼ



模擬店



あやとり



ビンゴゲーム

**常磐小学校創立
150周年記念展**



思い出を語り合う入場者

常磐小学校は、創立150周年を迎え、それを記念し、市民センター会議室に、学校の歴史などの資料が展示されました。明治6年、常磐地区の松本、風露下、青藍に三つの学校が分立され、8年に松本に併合され、14年には八幡町白旗山に移転、常磐小学校と称し、今日に至っています。

また、常磐地区の様子も展示され、地域を走っていた茨鉄線の動画が放映されました。当時を知る人達からは「懐かしい。昔を思い出して楽しい。」との声が上がっていました。

500名を超える人が入場され、昔の学校や地区の様子を興味深くご覧になっていました。

防災研修会



活動例を交えての話に耳を傾ける受講者の皆さん

11月15日(水)常磐市民センターにて、防災研修会が開催され、各町内会から70名が出席されました。

まず、陸上自衛隊勝田駐屯地岸田健吾氏が、陸上自衛隊の役割と災害派遣活動について話されました。重大災害時の自衛隊の早い出動、復旧支援活動など、本当に頼りに感じました。

次に、水戸市防災・危機管理課から、常磐地区の防災対応について話がありました。その中で、沢渡川のハザードマップでは、自由が丘、松が丘地内の4町内会の一部が浸水区域に該当するとの説明がありました。大雨に備えての避難準備などを、常に心掛けておくことが大切だと改めて思いました。

チーズ作り教室



モッツアレラ(丸めています)



istring(のばしています)

松が丘高齢者クラブでは、9月9日(土)、常磐市民センター調理室において、チーズ作り教室を開催。森林公園にある手作りチーズ工房「森のシェーブル館」の職員の指導のもと、モッツアレラとストリングの2種類のチーズ作りを体験しました。

丸めたりのぼしたりと、参加した皆さんは、初めての経験ではありましたが、自身が作ったチーズを持ち帰ることができました。後日話を伺ったところ、「形は少しわるいものの、自身が作ったチーズは大変おいしかった。」と話していました。

催し物のお知らせ

水戸市消防 出初式



これまで千波湖畔で開催されていた消防出初式が、今回からアダストリアみとアリーナ(東町運動公園)を会場に開催されます。会場変更に伴い、体験コーナーや展示の充実を図り、盛り沢山の内容となっております。多くの皆様のご来場をお待ちしています。(参加費無料)

日時: 令和6年1月7日(日)
午前8時50分~11時30分

ときわ地区 春まつり

常磐市民センター定期講座を受講されている皆さんが、日々の活動の成果を発表します。音楽やダンスの披露、書道・生け花などを展示するほか、模擬店も出店します。さらに、常磐小学校と水戸第一中学校の吹奏楽部の演奏もあります。

日時: 令和6年2月17日(土)
午前9時~12時、作品展
示は21日(水)まで

場所: 常磐市民センター、常磐小学校体育館

※詳細は、後日各戸配布するチラシをご覧ください。



め

実施内容
屋内: 式典、書道パフォーマンス、はしご乗り演技、模擬避難所の体験など
屋外: はしご車試乗、放水体験、地震体験(起震車)、煙体験、防火服の着装体験(記念撮影あり)、消防・自衛隊・警察の車両展示、救助活動訓練の実演など



和裁



ダンススポーツ



玉入れ



徒競走(子ども)



孫は宝



徒競走(大人)



パンポン体験



くつ飛ばし



10月8日(日)、常磐小学校の校庭で開催された「ときわ地区スポーツ広場」。青空のもと、子どもから大人まで大勢の皆さんが、スポーツを楽しみました。

常磐地区の人口を調べてみると

常磐地区(常磐小学校の学区内)の人口は、令和5年4月1日現在(以下各年とも同じ)10,934人です。5年前(平成30年)、10年前(平成25年)と比較しますと、少しずつ減っていることがわかります。また、水戸市内33小学校区の中で、常磐は11番目に位置しています。5年前は10番目、10年前は8番目でした。人口の減少傾向の影響でしょうか、順位が下がっています。

年代別の人口を見ますと、14歳(中学生)以下が、地区人口の10.0%と水戸市より2.4ポイント低く、65歳以上の高齢者は、29.1%で水戸市より2ポイント高い数字となっています。5年前、10年前と比較しますと、水戸市と同様に、常磐地区におきましても、少子高齢化が着実に進んでいることを示しています。

常磐学区の人口(住民基本台帳人口)

単位:人

	年	人口	年代別人口		
			0~14歳(%)	15~64歳(%)	65歳以上(%)
水戸市	令和5(2023)年	269,196	33,300(12.4)	162,948(60.5)	72,948(27.1)
	平成30(2018)年	272,074	35,950(13.2)	166,331(61.1)	69,793(25.7)
	平成25(2013)年	271,612	37,179(13.7)	172,861(63.6)	61,572(22.7)
常磐学区	令和5(2023)年	10,934	1,098(10.0)	6,655(60.9)	3,181(29.1)
	平成30(2018)年	11,374	1,234(10.8)	6,922(60.9)	3,218(28.3)
	平成25(2013)年	11,637	1,317(11.3)	7,314(62.9)	3,006(25.8)



水戸市のホームページには、さらに詳細な情報が掲載されています。

●生け花(龍生派)… 講師 鈴木 桂子

おいしいものに匂があるように、植物にも匂があります。生け花は、四季折々の美しい花木を暮らしに取り入れ、日常に変化や華やかさ、彩り、安らぎをもたらしてくれます。

講座では、受講生一人ひとりの経験や感性を大切に、それが作品に生きるよう心掛けています。

現在受講生は14名。毎月第4月曜日の午後に活動しています。生け花の楽しさを、ぜひ一緒に味わいましょう。



4月に受講生を募集します。常磐市民センター(常磐市民センター)定期講座を紹介

問合せ 常磐市民センター(☎029-1233-7005)

●太極拳 …… 受講生 戸沢 一夫

太極拳クラブは、創立から約30年になります。現在メンバーは、女性23名、男性4名。部三代子先生の優しいご指導のもと、毎月第2・第4火曜日の午後に活動しています。

太極拳は、本当にゆっくりと動きます。動きに伴って、ゆっくりと息を吸い、ゆっくりと息を吐きます。この動きのBGMは、先生が持参されるCDなどです。柔らかく懐かしく、ときには力強いメロディーに、ピッタリとあったときには、満足感にあふれる気持ちになりますよ。



「常磐地区の歴史」

常磐歴史研究会
会長 小林 富雄

茨城鉄道
鉄道と水戸

日本の鉄道は、1872年の9月に東京の新橋―横浜間を結んで開業したのが始まりです。この年の水戸では、水戸徳川家の旧臣が水戸城に放火する事件が7月に起きました。

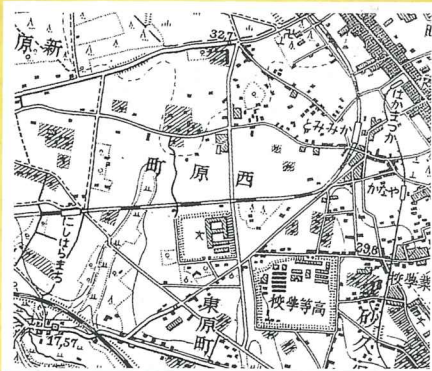
近代化の象徴の一つの鉄道、水戸では、1889年に水戸鉄道の水戸―小山間が開通したのが最初でした。1897年には日本鉄道の水戸―平(福島県)間が開通。同じ年、太田鉄道が水戸―久慈川間で開業しました。

茨城鉄道と常磐村

50年ほど前まで、常磐では鉄道が運行されていました。茨城鉄道と言い、1928年に本社を東京から旧常磐村に移したので常磐と縁の深い鉄道でした。

開業計画では、水戸駅と連結する予定でしたが、旧常磐村民

が多額の用地買収費を要求したので起点を赤塚駅に変更し、水戸を冠した駅として同村内に上水戸駅が設けられました。1926年に赤塚―石塚間で営業を始め、翌年には御前山まで全長25.2kmの全線が開業しました。



駅

全線単線で列車は、赤塚駅を発し、東石川駅(金比羅前より

廃業

改称)―西原町駅―上水戸駅―曙町駅―大学前駅(兵営前、南袴塚より改称)―堀駅―田野駅―飯富駅―藤井駅(以上上水戸市内)と運行しました。城里町内の5駅を経て、同じく城里町の終点御前山駅(那珂川右岸)まで計16駅が設けられました。

同社の営業成績は思わしくなく、1930年度の繰越損金は約30万円(現在の価格で2億9千万円)もあり、全国の民営鉄道でワースト4位でした。戦中には国策で水浜電車等と合併して茨城交通になりましたが、戦後の自動車の普及など経済社会の変化で、茨鉄線と親しまれた同線も、赤塚駅―大学前駅間を最後に1971年に全線廃止となりました。

旧上水戸駅は上水戸3丁目7のドラッグストアの所にありました。そこから赤塚駅までの軌道敷は今、常磐小学校北側を通る幹線市道23号(上水戸・赤塚線)として利用されています。北側軌道敷は市道常磐116、209号となっています。

編 後 記

明けましておめでとございます。

コロナ対策が大幅に緩和され、コロナ禍前のように、地域の行事が開催されています。また、

地域の団体も活発に活動されています。今号ではその姿をご紹介します。今号ではその姿をご紹介します。

介したほか、常磐地区の人口を調べ記事にしました。

これからも、地域の皆さんの

活動や地域にかかる事項を掲載していきたいと思っておりますので、広報部まで情報をご提供いただければ幸いです。

(三宅・小松・磯畑・池田・秋葉・石井)